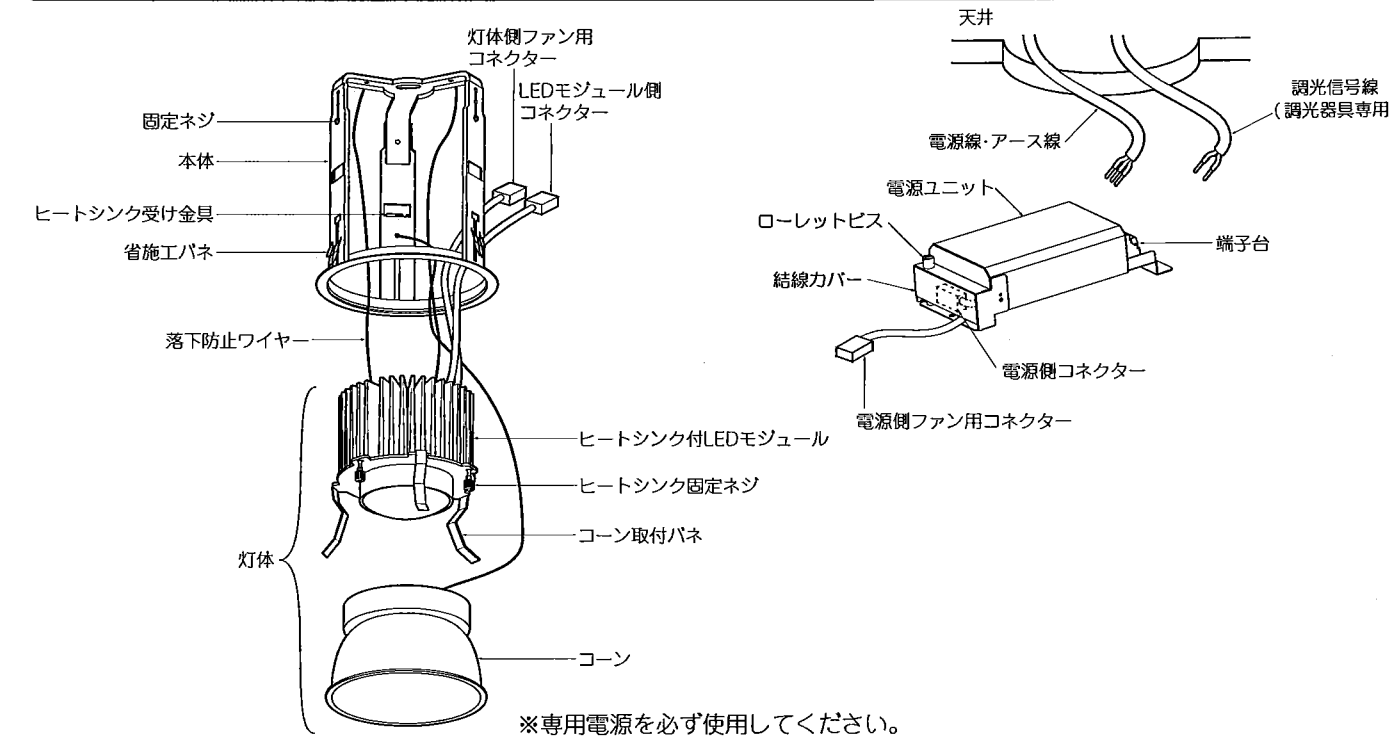


LEDZ

【型番】 ERD3225S, ERD3226S, ERD3227S, ERD3228S, ERD3229S, ERD3230S, ERD3231S, ERD3232S, ERD3225S-P, ERD3226S-P, ERD3227S-P, ERD3228S-P, ERD3229S-P, ERD3230S-P, ERD3231S-P, ERD3232S-P

◆各部の名称 この図は一部省略抽象した共通部品図です

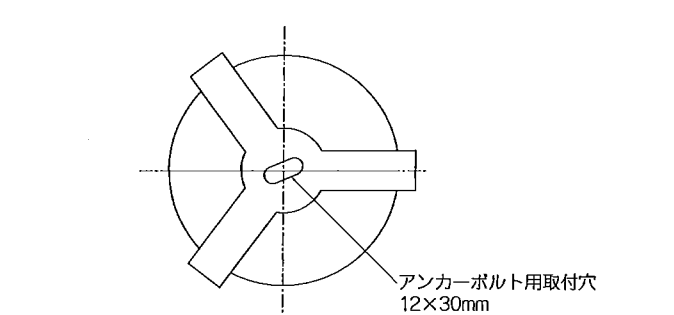


◆仕様

区分	型番		ランプ色	配光	近接照射限度	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力
	非調光器具	調光器具								
9000 タイプ	ERD3225S	ERD3225S-P	昼白色タイプ	広角	0.3m	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	1221mA	119.7W
	ERD3226S	ERD3226S-P		超広角				200V	627mA	116.6W
	ERD3227S	ERD3227S-P	ナチュラルホワイトタイプ	広角				242V	529mA	116.5W
	ERD3228S	ERD3228S-P		超広角				100V	1456mA	142.7W
11000 タイプ	ERD3229S	ERD3229S-P	昼白色タイプ	広角	0.5m	AC100V-242V	50Hz/60Hz	200V	733mA	139.3W
	ERD3230S	ERD3230S-P		超広角				242V	619mA	139.3W
	ERD3231S	ERD3231S-P	ナチュラルホワイトタイプ	広角						
	ERD3232S	ERD3232S-P		超広角						

※放熱の構造により、使用中にわずかなうなり音・振動が発生する場合がありますが異常ではありません。
 △ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆取付寸法



■清掃方法について △注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
 ●中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
 ●シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。
 アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店が、最寄営業所へお問い合わせください。

ERD3225S- T 2版

◆適合信号制御器(別売)の接続台数

型番	定格電圧	区分	接続台数	調光範囲
X-239W	AC100V	11000タイプ	7台(50台)	10%~100% 連続調光
		9000タイプ	8台(50台)	
X-240W	AC200V	11000タイプ	14台(50台)	
		9000タイプ	16台(50台)	

※()内は、信号供給のみの接続台数です。

◆取付方法

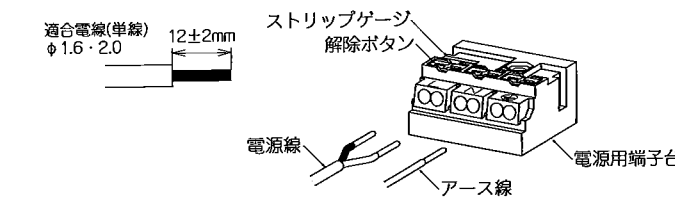
1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。
 △ 感電の原因となります。

2. 器具重量に耐える様、天井の取付面の強度を確保してください。
 ●指定の埋込穴をあけてください。
 (取付有効板厚 3mm~25mm)

埋込穴寸法
φ200±1

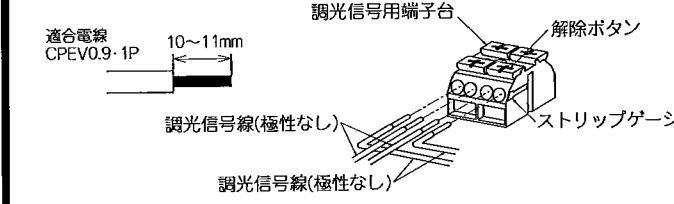
△ 取付部の強度が不十分な場合、上記埋込穴寸法より大きい場合は、器具落下・光モレの原因となります。

3. 電源線を電源ユニットの端子台に接続してください。
 ●電線はストリップゲージ長12±2mmにむいてください。
 ●電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
 ●送り容量15A以下。
 ●D種接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。
 ※100Vで使用の場合は、D種接地工事は不要です。



△ 電源線は解除ボタンを押さずに引き抜かないでください。接点金具が変形し、焼損、漏電、感電、不点灯の原因となります。
 △ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。
 △ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

4. 信号制御器(別売)で調光する場合は、調光信号線を電源ユニットの調光信号用端子台に接続してください。
 ●調光信号線はストリップゲージ長10~11mmにむいてください。
 ●解除ボタンを押したまま、調光信号線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。解除ボタンを元の位置に戻し、調光信号線が抜けないことを確認してください。
 ●使用する信号制御器の最大接続数以下で接続してください。



●信号制御器は当社指定の商品をご使用ください。
 ●信号制御器に付属の取扱説明書をご参照ください。

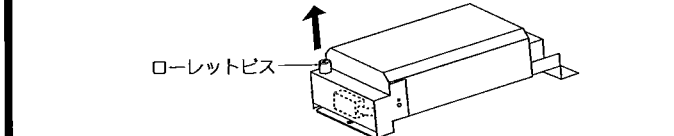
△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

5. 電源ユニットを埋込穴より挿入し、天井内で横転などないように設置してください。

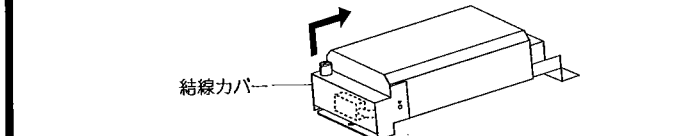
△ 電源ユニットが器具に触れないように設置してください。火災の原因になります。

6. コネクタを差し込み接続してください。
 ●LEDモジュール側コネクタに電源側コネクタを確実に差し込み接続してください。

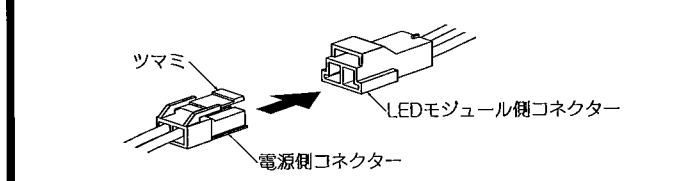
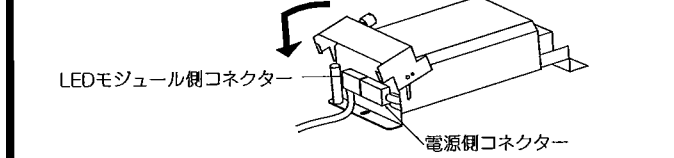
a. ローレットビスを緩めてください。



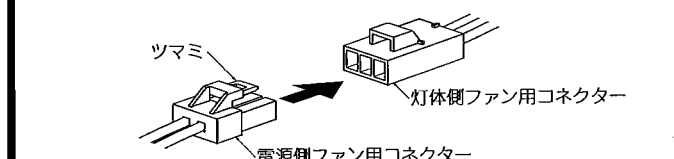
b. 結線カバーを上側へスライドしてから、後ろ側に回転してください。



c. コネクタを接続してから結線カバー内に収め、上記のaとbを参照し結線カバーを元の位置へ戻し、ローレットビスを固定してください。



●灯体側ファン用コネクタに電源側ファン用コネクタを確実に差し込み接続してください。



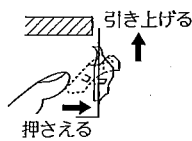
△ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

7. 左図のようにコーンを本体から取りはずしてください。

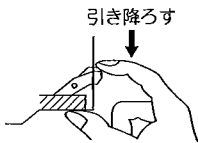
8. 本体を埋込穴に入れて、本体を天井に固定してください。
＜省施工パネ取付けの場合＞

取付け方

①パネを本体側に押し、器具を天井開口部に引き上げてください。

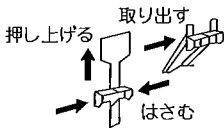


②本体内部パネの平らな部分を引き降ろし天井面としっかりはさみ込んでください。



取外し方

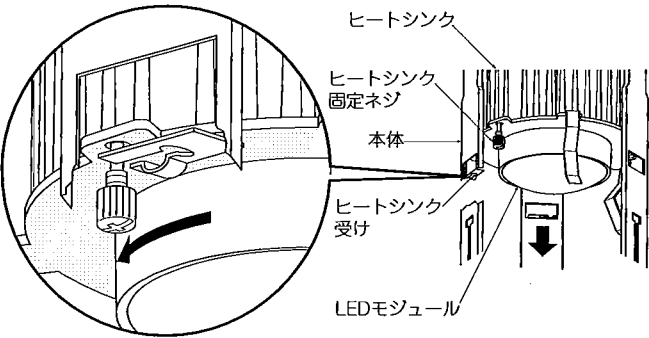
③本体を天井から取外す場合は、パネ両側をはさみ押し上げパネ取付穴より取り出してください。



⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

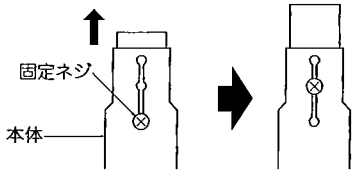
＜アンカーボルト取付けの場合＞

- 指定の位置にアンカーボルトを施工し、指定の埋込穴をあけてください。
- 取付用M10アンカーボルトは別途ご用意ください。
- 表面図のようにコーンを本体から取りはずしてください。
- ヒートシンク固定ネジ(3個)をゆるめ、ヒートシンク付LEDモジュールをヒートシンク受け金具から取りはずし、本体から引き抜いてください。

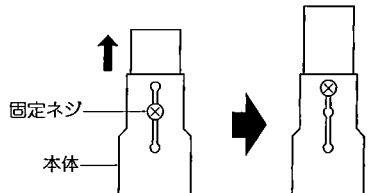


●本体の固定ネジ(4個)をゆるめ、本体上部を引き上げてから固定ネジ(4個)を確実に締め付けて固定してください。

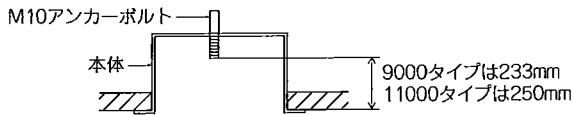
9000タイプの場合



11000タイプの場合



- 六角ナット(2個)、平座金は別途ご用意ください。
- 本体の取付穴にアンカーボルトを通し、平座金、六角ナット(2個)で天井面に確実に取付けてください。
- ※アンカーボルトに取付け後、上記の逆の手順でヒートシンク付LEDモジュールを取付けてください。
- ※本体を取付ける時、六角ナットを締めすぎますと本体が変形する場合がありますので、本体が天井面になじんだところで締付けをおやめください。



⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

9. コーンを押し上げて確実に取付けてください。

⚠ 取付けに不備がありますと落下の原因となります。